

## 北海道電力(株)京極発電所建設工事

発注者 : 北海道電力株式会社  
 事業所在地 : 北海道虻田郡京極町字春日  
 調査見学期 : 平成18年9月29日

### 工事概要

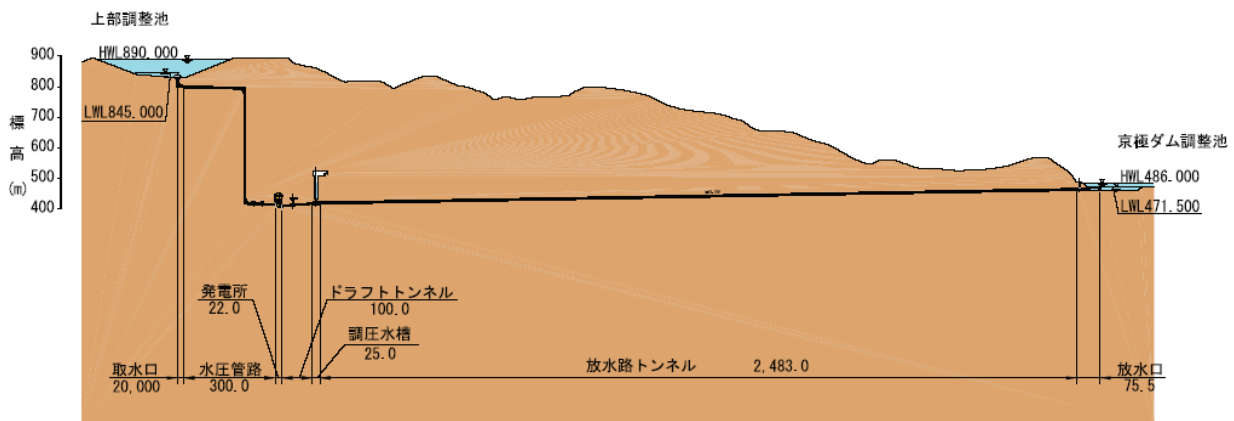
北海道電力(株)では、上部調整池から京極ダム調整池までの総落差約 400mを利用して、最大出力 60 万 kW (20 万 kW×3 台) の純揚水式発電所を新設する事業を平成 14 年度から行っています。平成 27 年 10 月に 1 号機、平成 28 年度以降に 2,3 号機の運転開始を目指して、現在、着々と工事が進められています。各設備の計画概要は以下のとおりです。

上部調整池、京極ダム調整池の概要(北海道電力(株)HP より抜粋)

	上部調整池	京極ダム調整池
河川名	—	尻別川水系 ペーペナイ川および美比内川
流域面積	—	51.3 km <sup>2</sup>
調整池面積	0.16 km <sup>2</sup>	0.39 km <sup>2</sup>
総貯水容量(有効貯水容量)	4,400 千 m <sup>3</sup> (4,120 千 m <sup>3</sup> )	5,546 千 m <sup>3</sup> (4,120 千 m <sup>3</sup> )
ダム諸元	アスファルト表面遮水壁型フィル 高さ 22.6m 堤頂幅 13.0m 堤頂長 1,108.6m 堤体積 125.1 万 m <sup>3</sup>	中央土質遮水型フィルダム 高さ 54.0m 堤頂幅 10.0m 堤頂長 332.5m 堤体積 126.9 万 m <sup>3</sup>

地下設備の概要(北海道電力(株)HP より抜粋)

取水口(注水口)	内径 19.0~5.0 m、延長 51.7 m
水圧管路	内径 5.0~1.9m (管厚 18~45mm) 、 延長本管 588.3m、分岐管 1号 71.6m、2号 55.5m、3号 97.0m
発電所	高さ 46.3m、幅 24.0m、高さ 141.0m
ドラフトトンネル	内径 3.7m 延長 1号 108.7m、2号 100.0m、3号 108.7m
調圧水槽	高さ 108.2m、内径 12.0m、延長 25.0m
放水路トンネル	内径 6.4m (1条)、延長 2,483.0m
放水口(取水口)	高さ 6.4~7.0m、幅 6.4~28.6m、長さ 75.5m



京極発電所断面図(北海道電力(株)HP より)